

＜ 静脈採血注射モデル ＞

取扱説明書

このたびは、静脈採血注射モデルをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み
ください。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

目次

1. 各部の名称と働き
2. 特に注意していただきたいこと
3. 正しい使い方
4. 使用後のお手入れと交換部品の取り替え
5. モデル構成表・仕様

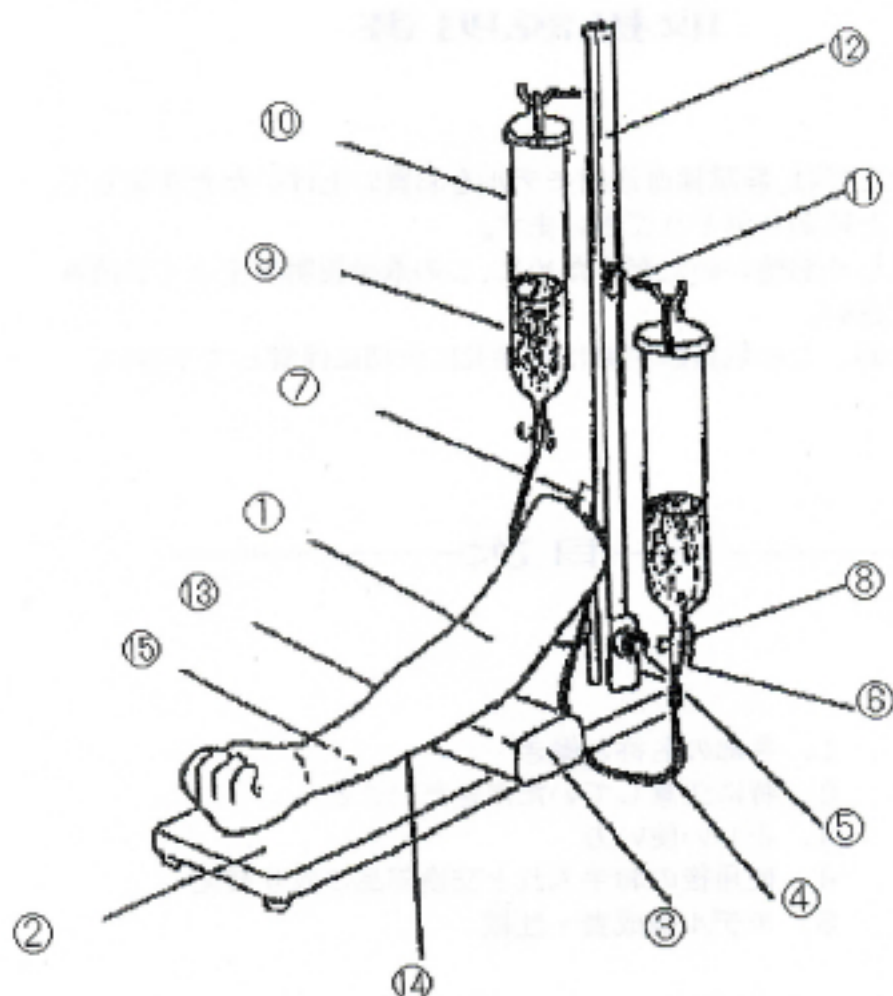
株式会社 高研

〒171-0031 東京都豊島区目白3-14-3

TEL03-3950-6600

FAX03-3950-6602

1. 各部の名称とはたらき



①腕モデル

②化粧木台

③静注枕

④血管チューブ

⑤グリルノブ

(スタンド固定)

⑥チューブコネクター

(血管チューブとイルリガートル接続)

⑦腕支持棒

(腕モデル固定)

⑧ピンチコック

(血流を止める)

⑨擬似血液 (水溶性)

⑩イルリガートル (500ml)

⑪高低調節フック

(押してイルリガートルを上下させる)

⑫アルミ製スタンド

⑬腕表皮 (皮膚)

⑭腕表皮用ファスナー

⑮腕肉質部

2. 特に注意していただきたいこと

1. このモデルは生体に似た特殊シリコーンゴム製ですので、できるだけ生体に対する場合と同様に、ていねいに取り扱ってください。
2. 血管は、針を刺しても液漏れはほとんどありませんが、同じ場所に何度も刺しますと、しだいに液漏れしますので新品と交換して下さい。
3. 太い針を使うほど、血管の寿命は短くなります。
4. モデル本体を、直接日光に長時間当てないで下さい。

3. 正しい使い方

- (1) 腕肉質部の血管溝に血管チューブをセットします。
 - (2) その上に腕表皮を被せ、ファスナーを閉めます。
 - (3) 腕表皮と腕肉質部が、自然で正しい位置になる様に調節します。
 - ④ アルミ製スタンドを立てて、グリルノブでしっかり固定します。
 - ⑤ 腕支持棒をスタンドフックに掛けます。楕円状の穴とフックを合わせてからはめ込み、そのまま拳を化粧台に下げると、腕支持棒は外れなくなります。
 - (6) 血管チューブ両端にチューブコネクターの細い方を十分奥まで入れます。
 - (7) 2個のイルリガートルの管先にシリコンチューブを十分奥まではめ込み、ピンチコックを通しておきます。
 - ⑧ イルリガートルのシリコンチューブコネクターの太い方を十分奥まで入れます。
 - ⑨ ピンチコックでシリコンチューブを塞ぎます。
 - ⑩ 2個のイルリガートルを高低調節フックに掛けます。
 - ⑪ 擬似血液を片方のイルリガートルに入れます。
 - ⑫ 高低調節フックボタンを押しながら高さを合わせます。
 - ⑬ ピンチコックを開き、血液を循環させます。
- *これで準備は完了です。実習を始めて下さい。
- ⑭ 上のイルリガートルの血液が空になってきたら、上下を逆にします。
 - ⑮ 実習が終了したら、ピンチコックで血液循環を止めて下さい。

() は購入時にセット済みです。

4. 使用後のお手入れ

1. 腕表皮を腕肉質部からはがします。無理にやると破損しますので注意して下さい。
2. 血管溝から血管チューブをはずします。
3. この血管チューブは針で刺しても殆ど液漏れしませんが、針を抜き取るとき、僅かですが漏れて表皮裏側を汚します。この汚れは水洗でも落ちますが、落ちにくい時はお湯や中性洗剤を使って下さい。
4. イルリガートルの擬似血液をポリ容器に移します。血管チューブの中に残っている分も抜き取ります。
5. イルリガートルと血管チューブは水洗いします。
6. 洗浄後は乾燥させます。
7. 表皮と肉質部も洗浄後に乾燥させ、ベビーパウダー等を必ず塗布して下さい。パウダー処理しないと、次回使用する際に、表皮と肉質部が密着してセットしづらくなります。

5. モデル構成表・仕様

1. 構成表

品名	数量
腕表皮	1枚
腕肉質部	1個
血管チューブ	1本+5本
化粧木台とスタンド	1組
イルリガートル500ml	2個
擬似血液	500ml
静注枕	1個
ピンチコック	2個
チューブコネクター	2個
ベビーパウダー	1個
収納ケース	1個
取扱説明書	1部

2. 仕様

品名	幅 (cm)	奥行 (cm)	高さ (cm)	重量 (kg)
腕本体	500	90	100	2.04
スタンド	600	160	670	1.50
収納ケース	275	655	220	2.43

3. 交換部品 (別売)

販売単位

- ・腕表皮 1枚
- ・血管チューブ 1組 (10本)
- ・模擬血液 1本 (500ml)